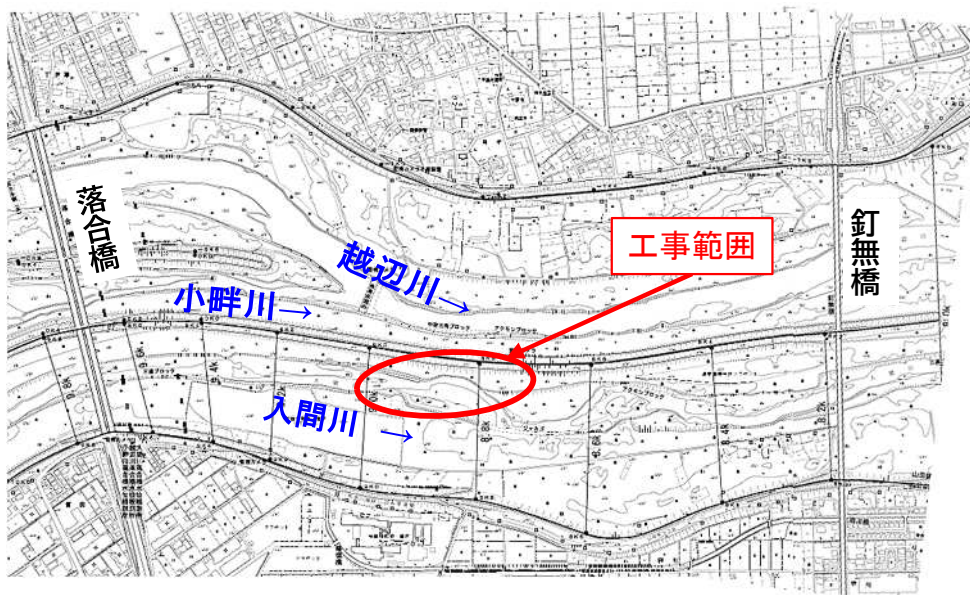


斜め写真

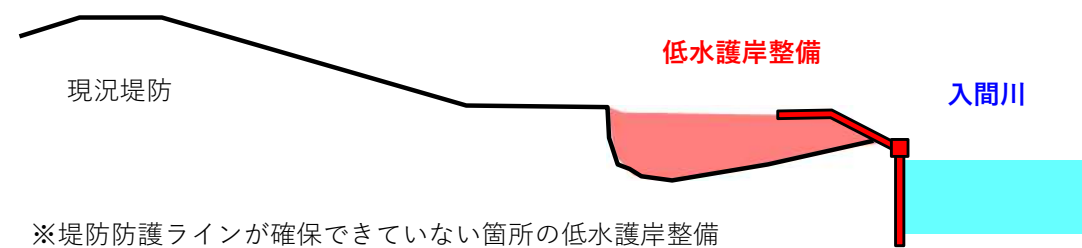


○着 手:令和4年9月
○完了予定:令和5年3月末

平面図



標準断面図



凡 例
 工事範囲

工事の目的

・堤防を保護するための低水護岸整備。



写真① 堤防から下流方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

主な環境

- ・調査範囲内は、主に樹林地と草地で構成されている。
- ・樹林地はヤナギ高木林で構成されており、草地はセイバンモロコシ、オオブタクサが優占する。動物では、ホオジロ、ニホンカナヘビなどが確認されている。
- ・調査範囲周辺の樹林地では重要種(鳥類)が確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。
- ・重要種(鳥類)については生息状況を定期調査し、状況を把握しながら施工する。